

市政調査会では9月28日に「市民と議員の懇談会報告会」を開催し、各班から懇談会での主な意見や反省点等について報告を行いました。各班からの報告内容については次のとおりです。なお、今回の懇談会で参加された市民の皆さんからいただいた400件以上の意見や要望等について、詳しくは市のホームページ「奥州市議会」に掲載します。

1班

・議員定数はおおた現状維持という意見が多かった。削減という意見の中には、30人ぐらいか、あるいは、シンクタンクの言うように20人ぐらいという意見の方もいた。

・借金を抱えている市の財政を考えると報酬は決めるべきという意見の一方で、合併後の議員活動は忙しくなり、定数も含めて報酬は現状でいいのではないかという意見もあった。

2班

・議員定数については、削減と現状維持が多かったと思うが、増員という意見もあった。

・報酬については、削減、現状維持という意見が多かったが、増額という意見もあり、さまざまな意見があった。

見があった。

・地区要望の回答については、CとDばかりでなかなか実現できないが、地区センターができたので、もっと地域に予算を配分し、地域が責任持つて施策を展開していくしくみが必要なのではないかという意見や、人口減少、若者の流出、若者の結婚問題などについての意見等も比較的多かった。

3班

・定数を決めるときは、議員だけではなく各地区センター長や各団体等の意見、または学識経験者等の意見も聞くべきだという意見もあった。

・若者や子ども達の人口減少の実態を踏まえながら、定数や報酬を考えるべきだとの意見もあった。報酬は生活給ではない。

報酬を決めるときは、市全体の予算の何%と決めたらよいという意見もあった。

・議員は地域代表という考えを捨て、大所高所に立って、市全体の課題あるいは政策に取り組んで欲しいという意見もあった。

4班

・議員定数については現状維持、もしくは若干の削減、32人が良いという意見もあったが、あまり減らすべきではないという意見が多かった。

・報酬については、増額は慎重にすべきという声があった。反面、議員報酬は決して高くない、一定の報酬が必要だという意見もあった。

5班

・議員定数については現状維持をという意見、地区にはぜひ議員は必要であり、これ以上減ると大変だという話が多かった。報酬については、現状維持が多かったが民間の状況を見ると、さらにアップすると思う考えは出ないという意見もあった。

・周辺部にもぜひ目を配って欲しい、中心部にだけ物や人が動いており、周りのほうに目が配られていないのではないかと、ぜひ見捨てないで欲しいという意見があった。

議会日誌

7月2日 大船渡市議会、陸前高田市議会、奥州市議会議員懇談会
3日 議会広報編集委員会
4～6日 総務常任委員会行政視察
産業経済常任委員会行政視察
9日 議会広報編集委員会
11日 東日本大震災調査特別委員会幹事会
12日 議会改革検討委員会
17日 議員全員協議会
市政調査会
19日 教育厚生常任委員会所管事務調査
23日 市政調査会
24～26日 建設環境常任委員会行政視察
30日 市民と議員の懇談会
31日 市民と議員の懇談会
8月1日 市民と議員の懇談会
2日 市民と議員の懇談会
3日 市民と議員の懇談会
9日 議員全員協議会
東日本大震災調査特別委員会

8月22日 議員全員協議会
東日本大震災調査特別委員会幹事会
28日 議会運営委員会
9月
平成24年第3回定例会（8月31日～9月26日）
〈会期中に開催された委員会〉
議会運営委員会 4回
競馬事業調査特別委員会 1回
東日本大震災調査特別委員会 1回
決算審査特別委員会 7回
総務常任委員会 2回
教育厚生常任委員会 2回
産業経済常任委員会 2回
建設環境常任委員会 2回
議会広報編集委員会 2回
12日 議員全員協議会
28日 議会改革検討委員会